

課題名：信州大学医療機器産業振興拠点における世界市場展開の高度化

代表機関／代表者：国立大学法人信州大学 / 杉原 伸宏

分担機関：なし

研究期間：令和7年7月～令和8年3月

支援内容・体制

- 本拠点特有のトータル伴走システムでニーズ発掘～医療従事者と企業技術者のマッチング～共同研究開発～承認・認証（薬機法・国際認証）～海外市場展開をさらに加速する。

成果・実績（予定）

- ニーズ発掘～医療従事者と企業技術者のマッチング～共同研究開発～承認・認証（薬機法・国際認証）～海外市場展開のトータル伴走支援の発展・拡大
- 病院等の医療現場はもとより、在宅での医療・介護現場、病院経営、医療制度改革、大手医療機器メーカー、欧米市場、グローバルサウス等の急拡大中の市場といった、ニーズ発掘の広視野化
- 医療機器ニーズの種類に応じたビジネスモデルの構築や徹底したマーケティングでの製品化確度の向上
- 海外市場展開に必須な、スタートアップ（SU）や中小ものづくり企業を対象としたリスク関連AI検索システムの開発と人材育成による医療機器のリスクマネジメント対応
- FDAやCEマーク等の海外認証対応
- 海外展示会を活用した、多様な国や地域の「医療ニーズ（＝市場ニーズ）」収集と研究開発へのフィードバック支援、マーケティング、具体的商談、貿易実務の啓発等の段階別支援。
- 大学研究テーマ等からのSUテーマ発掘と、起業支援、展示会を活用した早期の世界市場戦略構築とグローバルマネー獲得への支援

支援イメージ



支援イメージ

- 医療現場のニーズ発掘から、グローバルな販路開拓まで、10名余の医工連携コーディネータ(CDN)が伴走支援
- 医工連携CDNが高度に相互連携し、多様な案件に対応可能
- 企業の得意技術を医療関連機器へ新規展開するための支援が得意

国内外の医療ニーズ（＝市場ニーズ）を的確に把握し、国や地域毎に戦略・戦術を構築しながら世界市場確保が実現でき、本拠点の自立資金確保と、医療機器産業振興の大きなブレークスルーとなる。